



平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月2日

上場会社名 株式会社 ナノ・メディア
コード番号 3783 URL <http://www.nanomedia.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 星野 洋
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 武内 雅博

TEL 03-5770-5641

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	1,457	△16.1	△42	—	△41	—	△140	—
23年3月期第3四半期	1,737	△9.2	△183	—	△181	—	△195	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	△2,340.78	—
23年3月期第3四半期	△3,257.79	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第3四半期	3,088	2,747	89.0	45,898.50
23年3月期	3,274	2,887	88.2	48,239.28

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 2,747百万円 23年3月期 2,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成24年6月期末の配当に関しましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 平成24年6月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,177	—	△199	—	△198	—	△297	—	—

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※平成23年4月1日から平成24年6月30日までの15か月の業績予想としておりますので、対前期増減率は記載しておりません。

※当第4四半期累計期間および通期の個別業績予想について、本日発表の「特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」において修正を行っております。詳細は当該開示資料をご参照ください。

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期3Q	59,868 株	23年3月期	59,868 株
24年6月期3Q	— 株	23年3月期	— 株
24年6月期3Q	59,868 株	23年3月期3Q	59,868 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、東日本大震災の影響による景気の落ち込みからは回復の兆しは見られるものの、欧州債務危機を背景とした金融市場の混乱による円高・株安傾向が強まるとともに、タイ洪水被害の影響、電力不足懸念等から、景気は引き続き先行き不透明な状況で推移しました。

当社の事業ドメインである携帯電話市場においては、加速度的にスマートフォンがシェアを拡大しており、これに伴いコンテンツ、サービスの多様化が一層進むものと見られます。

このような状況下、当社はスマートフォン向け決済機能、認証機能及び会員管理機能を有する独自プラットフォーム『デジタルプラットフォーム』の開発を推進。11月よりアーティスト事務所等への導入の提案を開始しております。また、事業会社向けにはスマートフォンを活用したモバイルマーケティングモデルの構築等に注力してまいりました。一方、急速なスマートフォンの普及やメディアの多様化等により、フィーチャーフォンによる課金会員数の減少は引き続き増加傾向にあります。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,457百万円（前年同期比16.1%減）、営業損失は42百万円（前年同期の営業損失は183百万円）、経常損失は41百万円（前年同期の経常損失は181百万円）となりました。また、第2四半期において人員合理化に伴う特別退職一時金による特別損失48百万円と、当第3四半期において減損損失による特別損失44百万円を計上し、四半期純損失は140百万円（前年同期の四半期純損失は195百万円）となりました。

セグメント別の業績については次の通りであります。

(エンタテインメントセグメント)

当セグメントにおきましては、主要サービスであるアーティスト・タレントのモバイルサイトの運営を行っており、運営サイトにおけるコンテンツの充実並びにスマートフォンへの対応を順次実施しております。

具体的な取り組みとしまして、きせかえコンテンツ等ダウンロードコンテンツの増加、ECの積極展開等により既存コンテンツの充実を努め、『こびとづかん』等において会員数が増加いたしました。また、9月には株式会社ワタナベエンターテインメントの2サイト『WE!ワタナベタウン』『ワタナベお笑いモバイル』を立上げ運営しております。

また、11月には『BUCK-TICK』等において『デジタルプラットフォーム』を使ったスマートフォン対応サイトを新たに立ち上げる一方、『こびとづかん』、『AKB48 TeamOgi』等においてはスマートフォン用アプリを相次いでリリースし、スマートフォンに対応したコンテンツについても積極的に推進いたしました。

更に、株式会社フジテレビジョン等と共同で、ソーシャルネットワークワーキングサービス(SNS)「Mobage（モバゲー）」において、「水滸伝」をモチーフとするフィーチャーフォン向けソーシャルゲーム『水滸大戦』を12月より提供開始いたしました。

一方、前期に不採算サイトからの撤退を実施したこと等により、全体の会員数は減少し売上高は前年同期比で減少となったものの、セグメント利益は増加いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,089百万円（前年同期比22.6%減）、セグメント利益は244百万円（前年同期比11.4%増）となりました。

(ソリューションセグメント)

当セグメントにおきましては、企業向けにモバイル分野における各種開発やソリューションの提供を行っており、順次スマートフォンへの対応も進めております。

大手通信販売会社向けのモバイルECサイトの構築・運用、大手食品メーカー向けや外食チェーン店向けのモバイルプロモーションの企画・制作・運用等の案件に加え、大手製薬会社のモバイルサイトの構築を行いました。各社共にスマートフォンへの対応も行い受託範囲を広げつつあります。

また、5月から8月に実施しました株式会社大賀薬局長尾店での店舗連携型のモバイルマーケティングプログラムの実証テスト結果を受け、小売業に対する商用サービスの提案を行っております。

一方、開発受託案件は当初の予想を下回る受注レベルに留まっており、利益を押し下げる結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は355百万円（前年同期比8.6%増）、セグメント利益は74百万円（前年同期比16.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の資産合計は3,088百万円と前事業年度末比で185百万円(5.7%)減少いたしました。負債合計は前事業年度末比45百万円(11.8%)減少の340百万円、また純資産合計は前事業年度末比140百万円(4.9%)減少の2,747百万円となりました。

流動資産につきましては、144百万円減少しました。その主な要因は、現金及び預金が41百万円増加したものの売上高の減少に伴い受取手形及び売掛金が140百万円減少したこと、ならびに、未収入金30百万円の回収等により、その他流動資産48百万円が減少したことによるものです。

固定資産につきましては、41百万円減少しました。その主な要因は、減損損失44百万円を計上したこと等によるものであります。

負債につきましては、45百万円減少しました。その主な要因は、その他流動負債14百万円が増加したものの、売上原価の減少に伴い買掛金57百万円が減少したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第4四半期累計期間および通期の個別業績予想について、本日発表の「特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」において修正を行っております。詳細は当該開示資料をご参照ください。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,396,561	2,438,471
受取手形及び売掛金	541,489	401,132
商品及び製品	1,151	3,732
その他	75,859	27,449
貸倒引当金	△2,521	△2,757
流動資産合計	3,012,540	2,868,028
固定資産		
有形固定資産	34,700	0
無形固定資産	26,027	20,748
投資その他の資産	200,921	199,629
固定資産合計	261,648	220,378
資産合計	3,274,189	3,088,407
負債の部		
流動負債		
買掛金	268,957	211,292
未払法人税等	6,435	4,659
その他	99,476	114,222
流動負債合計	374,869	330,174
固定負債		
資産除去債務	10,273	10,380
長期未払金	1,057	—
固定負債合計	11,330	10,380
負債合計	386,200	340,555
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,770,425	1,770,425
資本剰余金	1,467,249	1,467,249
利益剰余金	△349,685	△489,822
株主資本合計	2,887,989	2,747,851
純資産合計	2,887,989	2,747,851
負債純資産合計	3,274,189	3,088,407

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	1,737,292	1,457,782
売上原価	928,457	808,232
売上総利益	808,835	649,550
販売費及び一般管理費	991,905	691,953
営業損失(△)	△183,070	△42,402
営業外収益		
受取利息	1,072	484
受取配当金	30	100
その他	16	38
営業外収益合計	1,118	623
営業外費用		
支払利息	31	1
その他	1	4
営業外費用合計	33	6
経常損失(△)	△181,984	△41,786
特別損失		
固定資産除却損	91	337
減損損失	5,010	44,088
特別退職金	—	48,406
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,233	—
特別損失合計	11,335	92,831
税引前四半期純損失(△)	△193,319	△134,618
法人税、住民税及び事業税	1,717	5,519
法人税等合計	1,717	5,519
四半期純損失(△)	△195,037	△140,137

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。